

正会員

アジア・アフリカ文化財団
 亜細亜大学
 海上・港湾・航空技術研究所
 杏林大学
 国際基督教大学
 国立天文台
 成蹊大学
 大正大学
 電気通信大学
 東京外国語大学
 東京学芸大学
 東京女子大学
 東京都立大学
 東京農工大学
 日本獣医生命科学大学
 日本女子体育大学
 法政大学
 明治大学
 ルーテル学院大学
 三鷹市

賛助会員

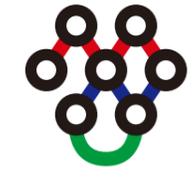
(一社)アジア経営戦略研究所
 イマジニア(株)
 (株)インテリジェンス・ワークス
 (株)インプレスホールディングス
 (株)ウィル・シード
 エム・ティ・プランニング(株)
 エンゼル(有)
 (同)科学成果普及機構
 (NPO)科学宅配塾
 (有)柏屋
 (NPO)ガリレオ工房
 (株)キズナ・ぼ
 (NPO)くらしとバイオプラザ21
 (NPO)グリーンネックレス
 (NPO)グレースケア機構
 境交通(株)
 (有)シーキューブシステムズ
 JA東京むさし三鷹支店
 静岡県立大学短期大学部
 次世代創造協同組合
 (NPO)シニアSOHO普及サロン・三鷹
 白百合女子大学
 (福)巣立ち会
 (有)そーほっと
 (株)ソシオエンジン・アソシエイツ
 (一社)地域資源研究所
 (一社)中日文化研究所
 (一社)電気学会
 電子システム(株)
 東京大学大学院総合文化研究科 教養学部
 (公財)東京都公園協会 神代植物公園
 (公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園
 東京三鷹ロータリークラブ
 東洋学園大学
 (一社)日本サイエンスコミュニケーション協会
 日本電信電話(株)情報ネットワーク総合研究所
 野村證券(株)吉祥寺支店
 (NPO)花と緑のまち三鷹創造協会
 東日本電信電話(株)
 (一社)ビューティフルエージング協会
 富士ゼロックスシステムサービス(株)
 (NPO)ホスピタル・プレイ協会 すべての
 子どもの遊びと支援を考える会
 (株)まちづくり三鷹
 (株)みずほ銀行三鷹支店
 三鷹ICT事業者協会
 三鷹光器(株)
 (公財)三鷹国際交流協会
 (公社)三鷹市医師会
 (公財)三鷹市スポーツと文化財団
 (NPO)みたか市民協働ネットワーク
 三鷹商工会
 三鷹SOHO倶楽部
 (NPO)みたか都市観光協会
 (一社)武蔵野コッツウォルズ
 武蔵野大学
 (学)立教女学院

2020年11月1日現在：個人賛助会員2名を除く
 56団体（50音順）

沿革

平成 15(2003)年	9月	三鷹ネットワーク大学・大学院(仮称)検討委員会(委員長 清成忠男法政大学総長=当時)が発足
平成 16(2004)年	4月 6月	検討委員会より三鷹市に対し「ネットワーク大学」設置に向けた提言書を提出 三鷹ネットワーク大学(仮称)開設協議会(会長=清成忠男法政大学総長=当時)を設置
平成 17(2005)年	3月 5月 6月 8月 9月 10月	第3回開設協議会で14の教育・研究機関と三鷹市が基本協定を締結 「三鷹ネットワーク大学推進機構」(理事長・清成忠男)を設立 「三鷹ネットワーク大学条例」が三鷹市議会で可決 東京都よりNPO法人認証書交付、法人登記完了 公の施設「三鷹ネットワーク大学」の指定管理者にNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構が指定される 三鷹ネットワーク大学開設 講座「アストロノミー・バブ」を開始
平成 18(2006)年	4月 5月 8月	ホームページを開設 「民学産公」協働研究事業を開始 講座運営支援システムの稼働。インターネットでの受講者登録・講座受付の開始
平成 19(2007)年	10月	東京女子大学が正会員に加入
平成 21(2009)年	7月 8月 12月	三鷹まちづくり総合研究所「第4次基本計画と市民参加のあり方に関する研究会」設置 「三鷹の森 科学文化祭」を三鷹市と共催(みたか太陽系ウォーク、まちなかサイエンス・カフェを開始(9月～)) 東京学芸大学・日本獣医生命科学大学が正会員に加入
平成 22(2010)年	4月 5月 6月	首都大学東京(現=東京都立大学)が正会員に加入 開設5周年記念三鷹ネットワーク大学シンボルマークを公募 三鷹教育・子育て研究所「三鷹市教育ビジョンの見直しに関する研究会」設置
平成 23(2011)年	6月 10月	三鷹まちづくり総合研究所「サステナブル都市三鷹研究会」設置 三鷹まちづくり総合研究所「コミュニティ創生研究会」設置
平成 24(2012)年	6月 7月	三鷹まちづくり総合研究所「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究所」設置 三鷹教育・子育て研究所「コミュニティ・スクール研究所」設置
平成 25(2013)年	8月 11月	「三鷹の森科学文化祭」の実施にあたり、国立天文台・三鷹市と協定を締結 杏林大学・地(知)の拠点整備事業と連携した公開講演会等を開始
平成 26(2014)年	2月 11月	三鷹まちづくり総合研究所「持続可能な都市経営と基本計画改定等の将来課題に関する研究会」設置 「アストロノミー・バブ」100回目を開催
平成 27(2015)年	5月 7月 10月	成蹊大学が正会員に加入 三鷹ネットワーク大学の指定管理者に再指定される(平成27(2015)年10月～令和7(2025)年3月) 三鷹ネットワーク大学開設10周年記念式典・シンポジウムを開催
平成 28(2016)年	7月 9月	「協働サロン」事業として、みたか都市創造サロンを設置 三鷹まちづくり総合研究所「庁舎等建替えに向けた基本的な枠組みに関する研究会」設置
平成 29(2017)年	6月 11月	鈴木典比古(国際教養大学理事長・学長)が三鷹ネットワーク大学推進機構の新理事長に就任 海上・港湾・航空技術研究所が正会員に加入
平成 30(2018)年	7月	三鷹まちづくり総合研究所「市政に関する将来課題の調査研究分科会」設置
令和元(2019)年	5月 12月	『人生100年時代の地域ケアシステム—三鷹市の地域ケア実践の検証を通して』発行 三鷹まちづくり総合研究所「みたか地域通貨・ボランティアポイント研究会」設置
令和2(2020)年	2月 5月 7月 8月 10月	東京外国語大学が正会員に加入 大正大学が正会員に加入 Zoomを活用したオンライン講座を開始 三鷹まちづくり総合研究所「まちづくり研究員」の委嘱 三鷹教育・子育て研究所「三鷹のこれからの教育を考える研究会」設置 窓口でキャッシュレス決済を開始 三鷹ネットワーク大学開設15周年を迎える

 三鷹ネットワーク大学 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階
 TEL：0422-40-0313 FAX：0422-40-0314
<https://www.mitaka-univ.org/>



Mitaka Network University's 15th Anniversary Event

三鷹ネットワーク大学開設 15周年記念事業

明日のまちに向かって！ Next Stage

ウィズコロナ、ポストコロナ時代の生き方を考える

民学産公による協働の新たなステージに向けて

三鷹ネットワーク大学が開設15周年を迎えた今年度、コロナ禍による未曾有の事態の中で世界は一変しました。節目の事業として、これからの時代を私たちはどう生きるか、どのように社会を変えていけばよいかを会員の大学・研究機関の皆様とともに考え、新たなステージに向けた出発点にしたいと思えます。

明日のまちに向かって！ Next Stage

プログラム

2月14日(日) 配信開始

会員大学学長ほかによる オンライン講演 (Youtube 配信)

会員大学の学長や教員によるさまざまな分野や視点から9タイトルの講演を動画でお届けします。

2月21日(日) ライブ配信

10:30～12:30 ※アーカイブ配信あり

記念シンポジウム (オンライン)

登壇者：杏林大学・国際基督教大学・東京外国語大学・ルーテル学院大学の各学長、国立天文台台長、三鷹市長、三鷹ネットワーク大学推進機構理事長

2月27日(土) ライブ配信

13:30～17:00 ※アーカイブ配信あり

学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020 (オンライン)

会員大学の学生たちが三鷹のまちづくりや未来の地域社会について提案発表します。

※それぞれの「視聴方法」は3ページに記載しています。

配信：2月28日(日)まで

三鷹ネットワーク大学の
 ウェブページでもご案内しています。
<https://www.mitaka-univ.org/15th/>



詳しくは…

明日のまちへの道を拓く

平成17(2005)年度に開設した三鷹ネットワーク大学は、令和2(2020)年度をもって開設15周年を迎えました。

20の教育・研究機関(正会員)と約60の企業・団体等(賛助会員)が集う「新しいかたちの地域の大学」である三鷹ネットワーク大学は、教育・学習機能、研究・開発機能、窓口・ネットワーク機能を広く地域に提供し、以って市民の生活・知識・経験・交流に資することを目的としています。これだけ多くの大学・研究機関、自治体や地域社会が連携する協働の取組は稀有であり、人生100年時代のモデルともなる存在であると認識し、この15年間、先駆的に道を切り拓いてきました。

今年度は当初より新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい、市民生活はもちろん社会経済に未曾有ともいえる甚大な影響が生じ、いまだ先の見えない状況が続いています。三鷹ネットワーク大学ではいち早く講座のオンライン化など多様な形態による学びの提供やリモートでの研究会開催などの取組を進めてきましたが、これからの世界は、さらに大きな、根本からの変化への対応が迫ってくるものと思われまます。こうしたピンチをチャンスと捉え、この15周年を「民学産公」による協働の新たなステージに向けた出発点とし、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を生きる人間の明日のまちに向かって新たな道を拓いていきたいと思えます。皆様のご理解と一層のご協力をお願いいたします。



特定非営利活動法人
 三鷹ネットワーク大学推進機構
 理事長 鈴木 典比古

15周年記念シンポジウム【オンライン】

2月21日(日) 10:30~12:30

当日は、YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。

ウィズコロナ、ポストコロナ時代の 生き方を考える

民学産公による協働の新たなステージに向けて

本シンポジウムでは、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を視点に、三鷹ネットワーク大学推進機構理事長はじめ理事の皆様や三鷹市長によりディスカッションを行い、これからの生き方や自治体・大学等のあり方、役割を探るなど「民学産公」による協働の新たなステージを考える機会とします。

コーディネーター



東京外国語大学
学長 林佳世子
お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程修了。東京大学人文科学研究科博士課程(東洋史学専攻)退学。2019年4月より現職。

パネリスト



杏林大学
学長 大瀧 純一

札幌医科大学卒業。杏林大学大学院医学研究科精神神経科学専攻博士号取得。2018年4月より現職。



国際基督教大学
学長 岩切 正一郎

東京大学大学院人文科学研究科仏語仏文学専攻修士課程修了。パリ第7大学テクスト・資料科学科第三課程修了。2020年4月より現職。



ルーテル学院大学
学長 石居 基夫

東京都立大学卒業。日本ルーテル神学大学(現ルーテル学院大学)・神学校卒業。米国ルーサー神学校博士課程修了。2020年4月より現職。



国立天文台
台長 常田 佐久

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所長等を経て2018年4月より現職。

三鷹ネットワーク大学推進機構 理事長 鈴木 典比古

一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。インディアナ大学経営大学院博士課程修了。経営学博士。公立大学法人国際教養大学理事長・学長。元国際基督教大学学長。2017年6月より当機構の理事長に就任。

三鷹市 市長 河村 孝

早稲田大学商学部卒業。1977年4月三鷹市に就職。同企画部長、副市長などを経て2019年4月より現職。

学生によるミタカ・ミライ研究アワード2020 発表・審査会【オンライン】

2月27日(土) 13:30~17:00

三鷹ネットワーク大学の会員大学(杏林大学、国際基督教大学、東京学芸大学、亜細亜大学)の学生による16グループが、未来の地域社会や三鷹のまちづくりについての提案をプレゼンテーションします。

優秀賞3点に選ばれたグループは、後日、市長、副市長、教育長の前で発表します。



<審査員>(敬称略)

三鷹商工会会長 岩崎 守利

みたか都市観光協会理事長 金子 彰

みたか市民協働ネットワーク代表理事 正満 たつ子

三鷹市ボランティアセンター長 菅谷 大助

(株)まちづくり三鷹代表取締役社長 吉田 純夫

(株)みずほ銀行三鷹支店長 小林 徹也

NTT情報ネットワーク総合研究所理事・企画部長 大石 哲矢

三鷹市企画経営課長 齋藤 大輔

三鷹ネットワーク大学理事長 鈴木 典比古

当日は、YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。

民学産公の 新たなステージへ

三鷹市長 河村 孝



三鷹市における長い市民参加と協働の歴史を背景として、15年前、三鷹ネットワーク大学が誕生しました。教育・研究機関が持つ高度な「知」の集積を地域につなげ、市民の「学びの場」「交流の場」として豊かな市民生活の実現をめざす取り組みを続けています。この間、その事業を支えてくださった関係者の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

現在、私たちはコロナ禍の只中にあり、社会、経済、教育をはじめあらゆる面で時代の転換点に立っています。地域社会は、すでに超高齢化や格差の拡大などに直面してきましたが、今後さらに新たな課題が噴出するでしょう。

こうした中で何よりも重要なのは、行政と専門家と市民が客観的・科学的なエビデンスを共有し、互いを信頼して率直に議論できるということだと思います。三鷹ネットワーク大学が成熟した市民社会の実現に向けさらに大きな役割を果たし、民学産公の協働の新たなモデルを発信することを期待しています。

会員大学学長ほかによる オンライン講演

会員大学の学長や教員により「ウィズコロナ、ポストコロナ時代をどう生きるか」を共通テーマにさまざまな分野や視点からの講演を動画配信します。

動画配信

2月14日(日)~
2月28日(日)

「コロナ禍と学校」

東京学芸大学 学長 國分 充

東北大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。博士(教育学)。東京学芸大学教授、学系長、副学長を経て、2020年4月学長に就任。専門は、障害児の心理学、心理学史。教員及び教育支援者を養成する大学にふさわしい教育と研究を追求。



「コロナ禍の先にあるもの／ 建築・都市・まちづくり」

亜細亜大学 教授 松岡 拓公雄

東京藝術大学美術学部卒業、同大学院美術研究科修了。丹下健三都市建築研究所で主に海外のプロジェクトに参画後アーキテクトファブを設立、共同主宰。滋賀県立大学環境科学部教授(名誉教授)。現在LLCアーキテクトシップ主宰。2016年亜細亜大学都市創造学部教授・学部長に就任。



「いつの時代にも 持続可能な社会を」

東京女子大学 特任教授 マリ・クリスティーン

東京工業大学大学院社会工学科で都市計画、まちづくり、女性と子どもの人権、地域の活性化等を学び、2018年より東京女子大学現代教養学部でこれらの分野を教えている他、異文化コミュニケーションとしても活躍。



「ポストコロナの都市と人口」

成蹊大学 学長 北川 浩

1960年山口県生まれ。一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。キャリア支援センター所長、経済学部長などを経て、2016年4月学長に就任。専門は、貨幣論、金融論、人材開発論。



「新型コロナでみえた 保健ガバナンスの課題」

東京都立大学 教授 詫摩 佳代

東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士(学術)。東京大学東洋文化研究所助教、首都大学東京准教授などを経て現職。専門は国際政治学、国際機構論。著書に『国際政治のなかの国際保健事業』『人類と病』など。



「中道を生きる (見えるもの、見えないもの)」

大正大学 学長 高橋 秀裕

東京大学大学院総合文化研究科修了。博士(学術)。大正大学人間学部教授、評議員、学長補佐、副学長を経て、2019年11月学長に就任。専門分野は、数学史、科学史・科学哲学、科学思想史。



「ウィズコロナ、ポストコロナ時代に 『食』はどう変わる？」

東京農工大学 学長 千葉 一裕

東京農工大学大学院農学研究科修士課程修了後、キューピー株式会社研究所研究員、東京農工大学教授等を経て、2017年度農学部・農学府長、2020年度に学長就任。専門は、農芸化学、生物有機化学、等。農学博士。



「ポストコロナの超スマート社会 を先導する新たな大学像」

電気通信大学 学長 田野 俊一

工学博士(東京工業大学)。電気通信大学大学院情報システム学研究科教授、大学院情報理工学研究科教授を経て2020年4月学長に就任。専門は、システム科学、人工知能、自然言語処理、ファジィ理論、HCI。



「青年の対人恐怖心性とスポーツと おとしてのコミュニケーション」

日本女子体育大学 准教授 三好 昭子

立教大学大学院現代心理学研究科博士課程後期課程修了。博士(心理学)。筑波大学大学院・日本学術振興会特別研究員(RPD)、帝京大学短期大学専任講師を経て現職。専門は教育心理学、青年心理学、生涯発達心理学。



視聴方法

それぞれQRコードから
リンクして視聴ください。



● オンライン講演

2/14(日)~2/28(日)
YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でご覧いただけます。



● 記念シンポジウム

2/21(日) 10:30~
YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。
※アーカイブ配信も行います。
(2/28(日)まで)



● 学生による ミタカ・ミライ研究アワード2020

2/27(土) 13:30~
YouTube(三鷹ネットワーク大学チャンネル)でライブ配信します。
※アーカイブ配信も行います。



詳しくは…

三鷹ネットワーク大学 検索